

3年ぶりに民間部会
一泊学習交流会



6月16日～17日、民間部会一泊学習交流会を開催。京都総評事務局長の柳生剛志さんが「労働組合活動と政治闘争について」をテーマに講演。首長選挙活動の意見交換をしました。その後、各組織での23春闘の取り組みなどの交流を行いました。

核兵器のない平和な世界
を！国民平和大行進



6月30日平和行進が奈良から引き継がれ、府内各地で「ノーモアヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャ」「核兵器のない平和な世界を、国は核兵器禁止条約の署名・批准を」と沿道にアピールしながら行進。7月7日には兵庫へ平和の願いのバトンを渡しました。

青年部レクリエーション
企画「遊戯王決定戦」



大阪労連青年部は7月8日、レクリエーション企画「遊戯王決定戦」を13人の参加で開催。憲法ゲームやオリジナルゲームなど楽しみながら学びました。その後、各組織の青年部の取り組みを交流して深めました。参加者から「今後の青年部活動にいかそう」との感想が寄せられました。

三四労の会 第20回
学習交流会・総会



三四労の会は、第20回学習交流会・総会を、7月16日に20人の参加で開催。弁護士の清水さんを講師に「本当に自由に働けるのか～裁量労働制について～」を学習しました。「職場に導入されないようにしなければ」との感想が寄せられました。最後に、新年度の体制を確認して総会を終えました。

ろーれんフラッシュユ



150人参加で
福保労フェスタ

6月24日福保労では、青年部や各支部からの実行委員とともに4年ぶりの対面で新入組合歓迎会「福保労フェスタ」を開催しました。当日は、全体で150人が参加して「クイズ新任さんに聞きました」「テーブル対抗ビンゴ」などのゲームで盛り上がりました。コロナ禍からはや数年が経つ中、若い層からの「活動制限されていないので教えてほしい」という声に対して、今回は2019年以前の活動（各支部や地本）の様子を動画にしてみても

らいました。参加者からは「あらためて組織の大きさとともに同世代の組合員がたくさんいる事を感じ、自分の職場活動にも生かしていきたい」「福保労フェスタを通して、細々でもすすめてきたことによってコロナ禍でもみんなとつながり続ける事ができたんだと実感した」との感想が寄せられました。

コロナが2類から5類となりましたが、福祉職場ではまだまだ配慮が必要で、次回さらにもう一歩大きな取り組みにしていけたらと思います。

「本音・弱音OK!労働組合」

第19回

役員セミナー



6月25日、第19回「役員セミナー」が51人の参加で開催されました。長久啓太さん（岡山県労働者学習協会事務局長）を講師に、「心理的安全性で成長しあえる労働組合に」をテーマに学習と交流を行いました。長久さんは「最近注目

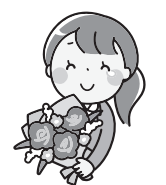
されている心理的安全性とは、みんなが気兼ねなく意見を述べることで、自分らしく意見を述べることで、自分らしくいられる文化のことで労働組合にとって重要な視点」と語りました。ワールドカフェ（グループ討論）の前にアイスブレイクを行いました。質問に当てはまればロープを踏むというもので、参加者からは笑い声にあふれ緊張感が吹き飛びました。最後のバーベキューで参加者の交流がさらに深まりました。「様々な職種の方の意見を聞くことが出来た」「また次回も参加したい」との感想が寄せられました。

引き続き、各組織の役員や、次世代を担う役員が集い、学習して交流を深める場として役員セミナーを開催して組織強化に繋げていきます。

春の
組織拡大
集中期間

昨年を上回る仲間が加入！

春の組織拡大集中期間は、各組織で久しぶりの新歓行事が開催されています。職場の悩みなどの相談をはじめ職場や地域でも対話が広がり、組合員の加入がすすみ昨年を上回る仲間を迎えています。また、学習や交流などで組織強化もすすんでいます。



2023年度
組織集会

7月15日、大阪労連は組織集会を、単産・地域から43人の参加で開催。主催者挨拶で菅議長は「組合員数は減少しても労働組合に求められる役割は変わらない。単産と地域で力を合わせ組織の拡大強化をすすめよう」と呼びかけました。

記念講演でJMITUの三木陵一中央執行委員長は「23春闘では、仲間や家族の声をつかもう。低額回答にはストライキを軸にした実力行使で抗議しよう」と提起。要求実現の力を持つ労働組合に成長するためには、みんな

で話し合いそれぞれの思いに共感し、要求実現の成功体験を積み重ね、職場以外の活動にも参加する。共済活動に取り組むことも大事。産別と地域組織が一体になって要求実現の力を持つ労働組合をつくらう」と23国民春闘のたたかいを振り返りつつ話しました。

続いて遠近幹事より「春の組織拡大集中期間では、職場や地域の奮闘で昨年を上回る仲間を迎え入れた」と基調報告が行われ、その



あと分散会を行いました。参加者からは「団結することが組織強化になることを再確認した」「他組織のたたかいを聞くことができ参考になった」「春闘では産業別統一交渉を行えるようにしたい」「それぞれ組織強化や再編で、いろいろな悩みを持たれていることを共有できた」との感想が寄せられました。

まとめの全体会で、嘉満事務局局長は「6月の時点で昨年の組織拡大数を上回っていることに確信を持って組織拡大を進めよう」と閉会挨拶し、最後に菅議長による「団結ガンバリウ」で集会を終えました。

第29回安全衛生基礎講座

学習することで
職場を見る目を養える



大阪労働健康安全センターは6月10日、17日に安全衛生基礎講座を開き、全体で11人が受講しました。

第1講義では公認心理士の鍛冶員照美さんが、職場で増加するハラスメントの基本的な捉え方やどのように予防するかなど、具体事例をグループ討議も入って参加型の講義を実施。第2講義では京都職対連の芝井公さんが、労災申請の事例を示し「脳や心や精神の労災認定状況が低いことから、働くことが原因で健康が損なわれない職場や社会をつくるのは労働組合の役割だ」と力説しました。

第3講義では滋賀医科大学の北原照代さんが、労働と健康の問題とジェンダー視点をテーマに、女性と男性の違いを説明。生理休暇の必要性や夜勤交代勤務が健康に及ぼす影響など詳しく話しました。第4講義では奈良

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車スグ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

